

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	デジタルビジネストラainingⅢ データベースと利用技術Ⅰ	配当学年	2学年
講義名 (コード)	デジタルビジネストラainingⅢ データベースと利用技術Ⅰ	単位数	2単位
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタル・ビジネスコース グローバルビジネスコース	講義期間	春期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	居山 由彦	授業形態	座学
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	○
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的 (位置づけ)	DXによる経済社会の時代において、DXとそれによるデータベースについて、必要な知識や考え方を身につけることが目的である。
到達目標	DXに関する知識、利用する考え方を学び、実例を知っていく。
全体の内容と概要	毎回、テーマを持って授業を行っていく。
授業時間外の学修	DXをキーワードにいろいろと調べてみるといい。
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
評価	評価基準	評価内容	
S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。	
A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。	
B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。	
C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。	
D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。	
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	日程 水④	講師	授業内容
1	4月17日	担任	DX II の授業構想と狙い
2	4月24日	Digital Shift 吉田社長	デジタルシフトの要と日本の成功事例、失敗事例
3	5月1日	授業なし	
4	5月8日	居山 由彦	吉田社長授業のまとめ振り返り
5	5月15日	Digital Shift 吉田社長	デジタル強国中国の事例
6	5月22日	授業なし	□(健康診断)
7	5月29日	居山 由彦	吉田社長授業のまとめ振り返り
8	6月5日	居山 由彦	ヘルスケア・医療系DX 概要
9	6月12日	ペプチドリーム 長江敏男 様	MR君がもたらしたイノベーション、製薬企業のプロモーション激変。医師・製薬・MSリー3方よし。医薬マーケティングは激変中。
10	6月19日	居山 由彦	長江さま講義のまとめ Healthcare市場全体のまとめ (株)CureApp 治療用アプリ事例
11	6月26日	ペプチドリーム 長江敏男 様	疾病構造変化と医療志向の長期予測、治療補助アプリと医薬の接点の切り。高血圧アプリの特徴、臨床効果と保険価格、使用患者数、売上予測。 (心身健康、未病で薬要らずがベスト)
12	7月3日	居山 由彦	ヘルスケア・医療系DXのまとめ、TBL Venture Pitchへの誘い
13	7月10日	KAZAANA	会社・事業概要 創業理念 眠っているMade in Japanの「もったいない」をよみがえらせるビジネスモデル
14	7月17日	居山 由彦	試験
15	7月24日	居山 由彦	追試

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	